

わ

か

く

さ

ニ

ュ

ー

ス

令和6年5月14日発行
令和6年5月号 No. 56横浜市金沢区泥亀 2-12-1
TEL: 045-784-6900社会福祉法人^{恩賜}財団 済生会支部神奈川県済生会
特別養護老人ホーム わかくさ

「いいね！カード」表彰式

当施設では、『ステキ！』『すごい！』『ありがとう！』と感じた方にメッセージを届ける制度として、また、褒める文化が根付くことを期待して、「いいね！カード」を職員相互間投票で実施しています。

結果、多くの票を得ました2名の職員を「褒められたで賞」として表彰しました。

表彰者・保條ひとみさん

(経営管理部 総務課)

・古賀由美子さん

(ユニットケア部 生活支援課)

総務課 前田



行事食 お花見弁当

4/11 (木) ホーム食

たけのこご飯 すまし汁
フライ(サラダロール ささみ竜田)
煮物(黄花シュウマイ 里芋
こごみ 花人参)
魚の照り焼き 卵焼き 牛肉巻き
菜の花和え桜水まんじゅう





1) 事業計画

当施設は、旧若草ホームから令和 2 年に移転することを機会に、5 か年の中期ビジョンを『信頼される施設になる』と定めています。令和 6 年度はその中期ビジョンの最終年度にあたり仕上げの年となり、今年度のスローガンを「第三者評価の経験を活かし風通しの良い組織を構築し選ばれる施設になる」としました。

顧客の視点の戦略を「利用者視点に立った適切なケアの提供」としました。第三者評価の受審経験を活かし、介護マニュアル等に沿ったケアが実践されているかを定期的に確認していきます。新型コロナが 5 類に分類されたことに伴い、感染対策に注意を払いながらも、これまで控えていたイベントを開催するなど地域との交流を進め、施設の役割・必要性をアピールしていきます。

業務プロセスの視点の戦略を「エビデンス（根拠）に基づいたケアの実践」としました。介護業務の可視化・標準化を図り多職種連携を推進します。また、ICT を有効活用し介護施設における DX（デジタルトランスフォーメーション）の対応を目指します。

学習と成長の視点の戦略を「自身の役割を認識できる人材の育成」としました。風通しの良い組織構築のため、役職者はスーパービジョンが担えるよう研鑽を積みます。そして、専門性の向上支援や様々な情報をケアに活かせる人材育成に取り組みます。

財務の視点の戦略を「赤字体質からの脱却」としました。抜本的経営改善計画に取り組み、キャッシュフローを改善して建設資金借入金を利益償還していきます。

令和 6 年度は、これらの計画を着実に実行し、利用者満足度・職員の定着率・施設の認知度の 3 つの向上を実現していきます。

また、済生会横浜金沢医療福祉センターの一員として他の施設と連携しながら地域包括ケアシステムの実現及び地域貢献を図ってまいります。

2) 利用者取扱計画

事業種別	定員	令和 6 年度 年間取扱延数	令和 5 年度 年間取扱延数	前年度比増減
入所事業	110 名	39,668 名	39,776 名	▲108 名
短期入所生活介護事業	10 名	3,285 名	3,294 名	▲9 名
居宅介護支援事業		1,410 名	1,500 名	▲90 名

※令和 5 年度はうるう年

3) 資金収支予算

(単位: 千円)

収 入			支 出		
勘 定 科 目		6 年度予算	勘 定 科 目		6 年度予算
事業活動収入	介護保険収入	701,467	事業活動支出	人件費支出	438,641
	雑収入	100		事業費支出	88,785
	受取利息配当金収入			事務費支出	79,454
	本部等補助金収入	1,000		支払利息	14,335
	小計	702,567		小計	621,215
施設整備等収入	施設整備等補助金収入	0	施設整備等支出	建物取得支出等	0
	施設整備等寄附金収入	0		器具備品他取得支出	265
	土地売却収入	0		ファイナンス・リース債務の返済支出	1,694
	設備資金借入金収入	0		施設整備借入金元金償還支出	66,596
	小計	0		小計	68,555
その他の活動収入	拠点区分間長期借入金収入	0	その他の活動支出	退職給付引当資産支出	14,099
	拠点区分間繰入金収入	0		拠点区分間長期貸付金支出	650
				拠点区分間長期借入金返済支出	7,500
				その他の活動による支出	500
	小計	0		小計	22,749
収 入 合 計		702,567	予備費		0
当期資金収支差額合計		▲ 9,952	支出合計		712,519

わかくさの理念「ともに あなたらしさの虹をえがく」 ～ 基本方針 ～

・ 良質なサービスを提供します ・ 向上心を持った職員が接します ・ 地域との連携を図ります ・ 笑顔が絶えない施設をつくります